

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」
事業実践報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【岩手県】

1 実践テーマ	V
2 実施対象者	岩手県立花巻清風支援学校 児童生徒 220 名 教職員・PTA・地域関係者 80 名 合計 300 名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (体育・保健体育) ② 行事名 (オリンピアンとの交流会)
4 目標 (ねらい)	(1) オリンピアン、パラリンピアンによる授業をとおしてスポーツの楽しさやスポーツに取り組む姿勢(心構え、態度)について知り、仲間とともに主体的に取り組む態度や公德心の育成・向上を図る。 (2) 児童生徒、教職員、PTA、同窓会及び地域の関係者にとって、オリンピック・パラリンピアンとの交流を励みとするとともに、共生社会に向けた理解推進の機会にする。
5 取組内容	<p>(1) 事前学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック、パラリンピックの歴史と目的 ・東京オリンピック、パラリンピックの日程等 <p>(2) オリンピアンによる講演・実技指導</p> <p>講師：鹿島丈博先生（大東文化大学専任講師） 体操オリンピックメダリスト(アテネ、北京)</p> <p>講演：「オリンピックでの経験談とこどもたちに伝えたい大切なこと」 実技：「誰でもチャレンジできる簡単なマット運動」（選抜児童生徒）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>(3) 事後学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学習及び講演の振り返り、スポーツの魅力等 ・アンケート

<p>6 主な効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ オリンピックメダリストから自分自身のスポーツとの出会いや興味を持ち始めたきっかけや多くの人に支えられてきたことに対する感謝の気持ち等、貴重なお話を聞くことができたこと、さらに直々にマット運動の指導を受けることにより、スポーツと運動に取り組む姿勢や興味・関心を持つ児童生徒が増えた。 ・ どんなことにも目標を持って取り組むことの大切さ、チャンスはどこにでも流れているが努力している人にしか見えないこと等、物事に取り組む姿勢を学ぶことができた。 ・ 児童生徒、教職員、保護者及び地域の方々にとって、直接オリンピアンに指導を受けることにより、努力し続けることやスポーツの価値を再確認し、東京オリンピック・パラリンピックを身近に感じることができる契機となった。
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童生徒や来校者への啓発を図るために、廊下の掲示板にオリンピック・パラリンピックコーナーを設置し、関連記事や資料を作成して掲載している。 ・ オリンピック、パラリンピックの説明の前に、本校の生徒が参加している県障がい者スポーツ大会や全国障害者スポーツ大会の様子について、生徒自身から感想等を発表することで、スポーツ大会の内容について理解できるように取組を進めてきた。 ・ パラリンピックの正式競技であるボッチャを授業に取り入れ、パラリンピック競技についての興味・関心を高める取組を進めてきた。 ・ 児童生徒の実態に合わせ、動画や写真を使いながら説明をすることを心掛けた。 ・ オリンピアンの指導の下、実際に指導を受ける場面を想定して児童生徒の興味・関心を高めることができるように配慮した。 ・ 生徒からお礼のことばと手作り作業製品を記念品として贈り、感謝とエールの気持ちをこめて校歌を斉唱した。 <div data-bbox="1062 645 1442 927" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1062 1043 1442 1326" data-label="Image"> </div>
<p>8 主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 時間が限られており、講演の後の質疑応答の時間を確保することができなかった。 ・ 児童生徒の実態に大きな差があるため、各レベルに応じた指導計画の立案に腐心した。 ・ 自分の生活エリア以外のことに興味を持たない児童生徒に対して、どのようにスポーツの魅力を伝えること等の関わりを行っていけばよいのか。
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今年の実施実績を基に、次年度も継続実施したいと考えている。